25 journal
society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU　okamura.nobuyoshi@gmail.com

西多摩の3酒蔵、ソーダ割りを推奨する日本酒を共同で商品化

西多摩地域の3つの酒蔵が7月13日、ソーダ割りを推奨する日本酒を発売する。ソーダ割りによる飲みやすさや、爽やかな味わいをアピールし、「西多摩発の酒ソーダ」として新たな需要を創出する。

3蔵元代表と南侑里さんが魅力をアピール

3蔵は、福生市の「嘉泉」田村酒造場、「多満自慢」石川酒造と、青梅市の「澤乃井」小澤酒造。若い世代の日本酒離れもあり、新たな飲み方を発信しようと共同で企画した。

各酒蔵が自社銘柄の中からソーダ割りを前提に「嘉泉上撰」「多満自慢上撰」「澤乃井五段仕込」を選び商品化。ラベルは蔵ごとに色を違え、デザインは統一した。

「若者にはチューハイやサワーのような炭酸割りが受けている」。そんな話題を耳にした田村半十郎さんは日本酒のソーダ割りなら多くの若者に受け入れられると、石川彌八郎さんに相談。手始めに蔵元の名前を冠した日本酒のソーダ割りを商品化し、昨年の「福生七夕まつり」でお披露目した。今年は同じ青梅沿線にある小澤酒造にも声をかけ、新しい日本酒文化を西多摩から発信していくという。

発売を前に7月2日、田村酒造でお披露目会を開催。3蔵元代表と「2024 MissSAKE」の南侑里さんが「アルコール度数も抑えられ、軽やかで飲みやすい。香りも楽しめ、しっかりと日本酒らしさも感じられる」とアピールした。

いずれも内容量は1・8リットルで、希望小売価格は2000円。

小池氏が3選　対決姿勢の蓮舫氏沈む

石丸氏健闘　新たな政治勢力に期待

2024都知事選

任期満了に伴う東京都知事選挙が7月7日投開票され、現職の小池百合子氏が3選を決めた。蓮舫氏、石丸伸二氏は及ばなかった。投票率は前回を5・62ポイント上回り60・62%だった。

2期の実績を踏まえ、東京大改革をさらに進めると訴えた。都政で小池氏を支える都民ファーストの会、公明の都議らがフル回転、首長の大半も小池氏の票固めを支えた。業界団体の組織票もしっかりまとめた。

蓮舫氏は立憲野党の結集を計り、無党派層へ浸透を測ったが、伸び悩んだ。組織を持たない石丸氏はSNSなどで知名度の拡散にしぼった選挙戦を展開。蓮舫氏を上回り、新たな政治勢力に期待を持つ層の受け皿になり、次の舞台に弾みをつけた。

小池氏を全力で応援した大勢待利明青梅市長は「私の青梅市長就任以来、小池都知事には、明星大学青梅キャンパスを日本航空学園へ紹介いただいたほか、学校給食費の無償化の支援をいただいた。引き続き、小池都知事、そして森村隆行都議としっかり連携し、青梅市を盛り上げ、東京の西から風を起こしたい」とした。

開票作業は8日未明に終了し、各候補者の得票数が確定した。小池氏は前回を下回ったものの291万票を獲得。次点の石丸氏は166万票と伸ばし、蓮舫氏は128万票で立憲野党勢力の域内を抜け出せなかった。

小池氏　西多摩でも強さ

奥多摩駅前で遊説する小池氏

一方、都議補選をみると裏金、旧統一教会の問題などによる自民への逆風は止んでいない。萩生田光一前政調会長の地元、八王子市で敗北するなど擁立した8選挙区で2勝6敗と負け越した。

小池百合子氏は西多摩でも圧倒的な強さを見せた。選挙戦を島しょを除き都内では13日に奥多摩町からスタート。都民ファーストの会代表の森村隆行都議の地元青梅市にも同日入った。青梅市で3万2556票を得るなど西多摩8市町村でいずれも首位に立ち、9万2595票を獲得した。都民ファーストの会にとっても来年夏の都議選に弾みをつけるものとなった。

都ファ 来夏都議選に弾み

追う石丸伸二氏と蓮舫氏はほぼ互角の戦いとなったが、小池氏には大差をつけられた。石丸氏は3万4485票、蓮舫氏は3万1694票だった。

ただ、石丸氏の健闘は西多摩地域でも新たな政治勢力に期待をする声が大きいことを証明した。

冷房による腰痛、肩痛にも

今年も猛暑。エアコンを使って暑さを乗り切りたいが、冷房は体に負担がかかり、辛い腰痛や肩痛を引き起こすことも。あきるの波多野整骨院（腰痛研究所併設）では、冷房による体の不調にもしっかりと対応する。

波多野良夫院長（70）は「一般的な整骨院とは異なり、どんな症状の患者様であっても体の根幹から変えることをコンセプトとしています。体を根幹から変えられるのは、体の骨格・筋肉・神経系、更には全身の血流までへもアプローチができるからです」と話す。

熟練した手技による患部へのアプローチに加え、他の整骨院ではほとんど導入されていない特別治療器による混合治療は、波多野院長が構造医学の権威から直々に指導を受け、取得した。同院ではその混合治療をHT根本治療法と呼んでいる。

「患者様の急性・亜急性期の痛みから慢性的な痛みまで幅広く対応しており、患者様の体に負担をかけない安心・安全な治療法です。また、幼少期のお子様から高齢者まで幅広く症状を改善できます」と波多野院長。

どこの病院にかかっても中々解消しなかった痛みや疲労でも改善する治療プログラムをオーダーメイドで提供してくれるので、痛みに悩む人に心強い。評判を聞きつけ来院、笑顔を取り戻した人も数多くいる。

診療受付時間は午前8時～正午、午後3時～7時30分（土曜日は12時半まで）。土曜日、祝日の午後と日曜日は休診。☎042（550）3477へ。詳細はホームページで。

体の不調にしっかり対応

あきるの波多野整骨院

あきる野市秋川5-1-2　P5台